

# GISA NEWS LETTER

## 地理情報システム学会ニューズレター 第81号

発行日 ● 2012年3月30日  
発行 ● 地理情報システム学会事務局

### 目次

2012年度 GISA学会賞募集	1p
学会からのお知らせ	1p
第20回研究発表大会 セッション報告	2p
委員会報告	2p

### 【2012 年度 GISA 学会賞募集】

【学会賞委員会 委員長：大澤 裕】

2012年度地理情報システム学会賞の募集を行います。

応募資格者および提出物の内容、受賞者選考・決定方法は以下のホームページでご確認ください。

<http://www.gisa-japan.org/awards/index.html>

自薦、他薦を問わず、たくさんのご応募をお待ちしております。

選考結果は9月末日までに応募者各位にご連絡いたします。また、受賞者は、本年10月13日（土）～14日（日）に広島修道大学にて開催される第21回研究発表大会で表彰されます。

募集部門：

「研究奨励部門」（本年3月末日の時点で35歳以下の者）

「学術論文部門」

「ソフトウェア部門」

「教育部門」

「著作部門」

応募期限：2012年7月15日（日）

提出先： 地理情報システム学会事務局

### 【学会からのお知らせ】

#### ■ 会費の改定について（前号記事再掲）

【副会長・財務担当理事：浅見 泰司】

すでにお伝えしておりますように、賛助会員が減少していることから、学会の財政状況は赤字状態が続いております。このままの見通しでは、改善の見込みがないことから、先の臨時総会における慎重な審議の結果、以下のように会費を改定することとなりました。

学会費は口座振込することを原則とし、そのもとの会費を以下のように定めます。

正会員 現行 7,000 円→改定後 9,000 円

学生会員 現行 3,000 円→改定後 4,000 円

賛助会員 現行 50,000 円→据え置き

なお、口座振込を選択しない正会員、学生会員に対しては、事務局の手数料を鑑み、それぞれ 1,000 円加算した額とします。

支部報告	2p
分科会報告	3p
学会後援行事等のお知らせ	3p
事務局からのお知らせ	3p

今後も財政状況を好転させ、会員サービスを増強するための努力を続けていきたいと考えております。すでに各委員会において、ニューズレターの電子化、学会におけるスクリーニング機能の強化などが様々な対策をご検討いただいております。学会を盛り上げていく具体的なご提案があれば、是非、学会にお寄せいただければと思います。

#### ■ 2012 年度一般社団法人地理情報システム学会 定時社員総会のご案内

社員総会で議決権を有するのは代議員の方のみですが、他の正会員の方も出席し意見を述べていただくことができます。

日時：2012 年 5 月 19 日（土）13：00～15：15

場所：東京大学工学部 14 号館 713 号室（7 階）

東京都文京区本郷 7-3-1

#### ■ 日本地球惑星科学連合 2012 年大会のご案内

地理情報システム学会の加盟する日本地球惑星科学連合の大会が、5 月に開催されます。当学会が運営するセッションは以下のとおりです。

(1) GIS（英語）

(2) 地理情報システム（日本語）

他にも地理学、地図学、測量学などを対象とした GIS と関連が深いセッションも開催されます。

会期：2012 年 5 月 20 日（日）～25 日（金）

会場：幕張メッセ国際会議場（千葉市美浜区中瀬 2-1）

事前参加登録（当日登録より割安）：

～2012 年 5 月 7 日（月）17：00（予定）

URL：<http://www.jpgu.org/meeting/index.htm>

#### ■ 2012 年度学術研究発表大会のご案内

2012 年度地理情報システム学会研究発表大会は、10 月 13 日（土）、14 日（日）の両日、広島修道大学にて開催されます。発表申し込みの手続きなどの詳細は、決まり次第、メールニュースや HP でご案内いたします。

（参考：2011 年度の発表申込）

アブストラクト提出：7 月 1 日～7 月 15 日正午必着

講演論文集用原稿提出：7 月 1 日～8 月 31 日正午必着

## 【第 20 回研究発表大会 セッション報告】

特別セッション(7) :

震災時のオープンデータ・オープンソースによる

クライシスマッピング

オーガナイザー : 古橋 大地

「阪神大震災の起きた 16 年前は中学生でした。」

後半のパネルディスカッションで、東日本大震災においてオープンな地理空間情報を活用した各プレイヤーに活動の原点について聞いたときの回答である。登壇いただいたほとんどのメンバーは当時学生であり、記憶はあるけれども、特に何か行動を起こすわけではなかったことなど、日本で GIS が普及した一つのきっかけである阪神大震災の時と比べ、最前線で地理空間情報や GIS を活用する世代が大きく変わってきている状況を改めて確認できた。冒頭ではオーガナイザーの古橋が 2005 年の Google Maps/Earth 以降に一般へ広がった、無料ツール、オープンソースツール(FOSS4G)を使いこなすネオジオグラファーの存在を指摘し、東日本大震災でオープンソース、オープンデータを駆使して活動した 6 人のプレイヤーがそれぞれの活動内容を報告した。

sinsai.info の瀬戸は、Twitter を中心に大量に流通したショートメッセージなどのクラウドソースを位置情報と紐付け、デマやスパムなどの情報をフィルタし、オープンストリートマップ上に展開するクライシスマッピングについて紹介した。OSGeo 財団日本支部の嘉山は、オープンソース GIS の総称である FOSS4G ツールを利用して行われた様々な活動を紹介し、震災直後に国土地理院から公開された空中写真画像のオルソ補正/幾何補正ボランティアなどの実際の作業内容やその後の活用事例を報告した。防災科学技術研究所の田口はオープンソースで構成された e コミュニティプラットフォームをベースに、様々な震災情報を集め整理したポータルサイト「ALL311」や、実際に被災地で活動した内容を紹介した。産業技術総合研究所の山本は、大規模な衛星画像配信を行なっている GeoGrid システムの当時の被災状況とその後の復旧、そして震災関連情報の配信といった経緯を報告した。国土交通大学の鎌田は、東日本大震災の発生当時は国土地理院に所属し、空中写真、地形図、浸水範囲概況図などを提供。当時の国土地理院の動きと共に、特に負荷の高かった空中写真画像の配信については外部のホスティングサーバを導入や幾何補正ボランティアとの連携など、今までとは大きく異なる災害対応の舞台裏について紹介した。情報科学テクノシステムの渡部は、被災地の状況把握に UAV による空撮が有効であり、実際に大槌町で定期的に撮影している空撮画像の分析と、オープンライセンスによって公開することで、オープンストリートマップを始めとした様々な二次利用の可能性に言及した。

後半のパネルディスカッションでは、先に述べた各プレイヤーの原点から、具体的に災害時の地理空間情報の活用を意識し始めたのは、中越地震やハイチ大震災など、ここ数年での取り組みが影響していることや、今までの取り組みの課題とこれからやるべきこと、特にオープンストリートマップを

はじめとした、誰でも自由に利用可能なオープンデータの品質と量の向上と、オープンデータが得意とする情報の鮮度の重要性について意見が一致した。

## 【委員会報告】

### ■ GIS 資格認定協会の活動について

【GISCA 幹事長 : 太田 守重】

GIS 上級技術者の有資格者数は、2 月 29 日現在で 225 名、教育認定件数は 27 件、そして名誉上級技術者の数は 13 名です。新規の認定者数は定常的に増加していますが、5 年間の有効期限が切れることに伴って、再申請を出す方の数は、未だ不安定な状況です。該当する方で、資格の継続を希望される方は、できるだけ早く、申請してください。

さて、来年度から、新たな規約の元で申請を受け付ける、ということは、既にご案内しました。つまり、申請者、再申請者は、GIS 学会又は連携学会のいずれかに所属していただく、ということです。当初は 4 月からこの方針を採用することにしておりましたが、GISCA のホームページに不具合があったため、周知できていないのではないか、ということが危惧されますので、運用開始は 5 月 1 日から、ということに致します。ご理解のうえ、ご協力のほど、お願い致します。

## 【支部報告】

### ■北海道支部

【橋本 雄一】

「第 9 回北海道測量技術講演会」開催報告

国土地理院北海道地方測量部が(社)日本測量協会北海道支部との共催で「第 9 回北海道測量技術講演会」を 2012 年 1 月 26 日(木)札幌第 1 合同庁舎において開催し、これを GIS 学会北海道支部は後援しました。今回の講演会は、「北海道で想定される巨大地震と災害時における地理空間情報の利活用について」というテーマで行われ、国土地理院参事官の小出正則氏が開会挨拶をした後、基調講演として北海道大学地震火山研究観測センター長の谷岡勇一郎氏が「北海道で想定される巨大地震と大津波」、北海道大学大学院文学研究科の橋本雄一が「地震・津波の対策における GIS と基盤地図情報の活用」という講演を行いました。さらに、北海道開発局事業振興部防災課の盛永 互氏が「北海道開発局の危機管理体制と今後の地震・津波対策について」、国土地理院北海道地方測量部長の永山 透氏が「東北地方太平洋沖地震における国土地理院の対応」、国土地理院測地部測地基準課の檜山洋平氏が「東北地方太平洋沖地震における基準点成果改定について」について講演を行いました。なお、これら講演で使われた資料は国土地理院の Web サイト (<http://www.gsi.go.jp/hokkaido/topics-topics.html#120126>) で配信されております。当日は、民間や官公庁などから 164 名の参加があり、巨大災害における地理空間情報の活用についての関心の高さがうかがわれました。本支部は、今後も様々な企画を行ってまいりますので、会員の皆様のご支援をお願い申し上げます。

## 【分科会報告】

### ■防災GIS分科会 [畑山満則]

防災 GIS 分科会では、東日本大震災支援チームを作り、継続的に活動を行ってきました。チームの活動については、2011年度の学術研究発表会で特別セッションを組ませていただきましたが、それ以外にも下記のセミナー、シンポジウムで報告させていただきました。

2011 年

- 5 月 20 日 GIS 上級技術者会議
- 6 月 2 日 第 7 回 GIS コミュニティフォーラム
- 7 月 19 日 空間情報シンポジウム 2011 (大阪会場)
- 9 月 22 日 第 6 回防災計画研究発表会
- 9 月 27 日 CSIS-i 第 1 回公開シンポジウム「空間情報のインフラとしての深化・融合を目指して」
- 11 月 21 日 第 30 回測量技術講演会ーG 空間社会の実現に向けてー

2012 年

- 1 月 19 日 ワークショップ 「災害を観る 8」

被災者受入状況調査については、9 月以降も一週間に一度の更新を続けてきましたが震災から 1 年を迎えた 2012 年 3 月 11 日をもって、学生・社会人ボランティア等の協力による集計作業を終えることとしました。これに伴い、本活動を中心とした支援チームの総括セミナーを 2012 年 3 月 27 日に京都大学防災研究所にて開催しました。当日の議論内容に関しては、学術研究発表大会で報告する予定です。

また、総合防災・災害リスク軽減に関する国際会議である IDRIM 2012 Conferences (2009 年の京都開催時には地理情報システム学会が後援) が 2012 年 9 月 7-9 日に北京師範大学で開催されます。ご興味のある方は下記のホームページをご覧ください。

<http://idrim2012.adrem.org.cn/home.htm>

## 【学会後援行事等のお知らせ】

### ■後援■ 第 8 回 GIS コミュニティフォーラム

主催: ESRI ジャパンユーザ会

会期: 2012 年 5 月 31 日 (木) ~ 6 月 1 日 (金)

会場: 東京ミッドタウン

詳しくは… <http://www.esrij.com/>

## 【事務局からのお知らせ】

### ■ 2012 年度年会費納入のお願い

今号は、2 月末日までに口座振替用紙の返送が無い会員の方々に、来年度分 (2012 年 4 月 1 日 ~ 2013 年 3 月 31 日) 年会費の郵便振込専用紙を同封しております。

**納入期限は 4 月 30 日 (月)** ですので、お早めにお手続きください。期限に遅れますと、6 月発行のニューズレター 82 号および『GIS-理論と応用 Vol. 20-No. 1』の送付が停止されるほか、ホームページの会員専用コンテンツの閲覧が出来なくなります。

### ■ 学生会員さんへ 学生証のコピー提出のお願い

4 月以降も学生の方は、**新年度の学生証のコピー**を事務局までご提出ください。**4 月 6 日 (金) 必着**、FAX またはメール添付でお願いします。期日までの提出が無い場合は、正会員に移行したものととして、差額分の 5,000 円を改めて請求いたします。

### ■ 年会費口座振替ご利用の方へのお願い

来年度分 (2012 年 4 月 1 日 ~ 2013 年 3 月 31 日) 年会費の**口座引き落とし日は 6 月 28 日 (水)**です。口座残高のご確認をお願いいたします。

年会費は正会員 9,000 円、学生会員 4,000 円です。

### ■ 変更届提出のお願い

就職、転職、所属や自宅の場所が変わった等々の場合、速やかに変更届をご提出ください。変更はオンラインで出来ます。

<http://www.gisa-japan.org/member/index.html>

(変更は HP の「入会お申込み」から、どうぞ)

「会費を払ったのに郵送物届かない」という事態を招く前に、是非、提出ください。

## 【お詫び】

### ■ Web サイトの閉鎖と再開について

1 月に当学会のサイトがウイルス感染した恐れがあるとの連絡を受け、一時サイトを閉鎖しておりました。

データバックアップとウイルス除去はすぐに済みましたが、この機に他のセキュリティ課題についても対策を講じておりましたため、復旧のご案内が大変遅くなってしまいました (各支部、各分科会の一部については、再度のアップロードをお待ち下さい)。

長らくご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

2012 年 2 月末現在の個人会員 1365 名、 賛助会員 71 社		
<b>賛助会員</b> (2口)NTT情報開発㈱ (1口)アイエニウェア・ソリューションズ㈱,朝日航洋㈱,アジア航測㈱,いであ㈱,㈱インフォマティクス, ESRIジャパン㈱,NTT空間情報㈱,愛媛県土地家屋調査士会, 応用技術㈱,大阪土地家屋調査士会,オートデスク㈱,㈱オオバ,かごしまGIS-GPS技術研究所,㈱かんこう,関東甲信越東海GIS技術研究会,財岐阜県建設研究センター, 九州GIS技術研究会,協同組合くびき野地理空間情報センター,近畿中部北陸GIS技術研究会,㈱こうそく,幸陽測量設計㈱,国際航業㈱,国土情報開発㈱, ㈱古今書院,寿精版印刷㈱,GIS総合研究所,GIS総合研究所いづみさき,㈱GIS関西,ジェイアール西日本コンサルタンツ㈱,㈱JPS,㈱ジオテク関西,㈱ジャスミンソフト, ㈱昭文社,㈱ジンテック,㈱数理システム,㈱ゼンリン,㈱谷澤総合鑑定所,玉野総合コンサルタント㈱,中四国GIS技術研究会,テクノ富貴㈱,東京ガス㈱, 東北GIS技術研究会,㈱ドーン,内外エンジニアリング㈱,長野県GIS協会,いしかたGIS協議会,日本エヌ・ユー・エス㈱,日本情報経済社会推進協会,日本スーパーマップ㈱, 財日本測量調査技術協会,日本土地家屋調査士会連合会,財日本地図センター,パシフィックコンサルタンツ㈱,㈱パスコ,東日本総合計画㈱,㈱日立製作所中央研究所, 北海道GIS技術研究会,㈱マップクエスト,㈱松本コンサルタント,三井造船システム技研㈱,㈱三菱総合研究所,三菱電機㈱,ヤフー㈱,財Jモートセンシング技術センター 自治体会員:(1口)大阪府高槻市役所,大阪府豊中市役所,経済産業省特許庁,総務省統計局統計研修所,長野県環境保全研究所,福岡県直方市		
<b>学会分科会連絡先一覧</b>		
●自治体：石黒 徹（横浜市政政局政策部政策課 Tel 045-671-2066） E-mail：to01-ishiguro@city.yokohama.jp ●空間IT：有川正俊（東京大学空間情報科学研究センター Tel 04-7136-4291） E-mail：arikawa@csis.u-tokyo.ac.jp ●ビジネス：高阪宏行（日本大学 Tel 03-3304-2051） E-mail：kohsaka@chs.nihon-u.ac.jp ●防災GIS：畑山満則（京都大学防災研究所 Tel 0774-38-4333） E-mail：hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp ●土地利用・地価GIS：碓井照子（奈良大学） 事務局：西端憲治（㈱セイコム Tel 0721-25-2728） E-mail：totiriyo-sig@sei.com.jp	●時空間GIS：吉川耕司（大阪産業大学 Tel 072-875-3001） E-mail：yoshikaw@due.osaka-sandai.ac.jp ●地図・空間表現：森田 喬（法政大学 Tel 0423-87-6270） E-mail：morita@k.hosei.ac.jp ●セキュリティSIG：川添博史（特定非営利活動法人GIS総合研究所） 事務局：国司輝夫（特定非営利活動法人GIS総合研究所Tel 06-6464-7077） E-mail：info@gissoken.org ●自律分散アーキテクチャ：藤田晴啓（東洋大学 Tel 0276-82-9157） E-mail：fujita-hi@toyonet.toyo.ac.jp ●FOSS4G分科会：Venkatesh Raghavan（大阪市立大学） 連絡先：嘉山陽一（朝日航洋㈱ TEL049-244-4032） E-mail：youichi-kayama@aeroasahi.co.jp	
<b>地方支部の連絡先一覧</b>		
<北海道支部> 支部長：北海道大学 橋本 雄一 Tel：011-706-4019, E-mail：you@chiri.let.hokudai.ac.jp <東北支部> 支部長：岩手県立大学 阿部 昭博 Tel：019-694-2562, E-mail：abe@iwate-pu.ac.jp <北陸支部> 支部長：新潟大学 牧野 秀夫 Tel：025-262-6749, E-mail：makino@ie.niigata-u.ac.jp <中部支部> 支部長：名古屋大学 奥貫 圭一 Tel：052-789-2233, E-mail：nuki@lit.nagoya-u.ac.jp <関西支部> 支部長：大阪工業大学 吉川 眞 連絡先：田中 一成（大阪工業大学） Tel：06-6954-4293, E-mail：gisa@civil.oit.ac.jp	<中国支部> 支部長：広島工業大学 岩井 哲 Tel：082-921-5486, E-mail：s.iwai.i5@it-hiroshima.ac.jp <四国支部> 支部長：香川大学 野々村 敦子 Tel：087-864-2146, E-mail：nonomura@eng.kagawa-u.ac.jp <九州支部> 支部長：九州大学 三谷 泰浩 Tel：092-802-3399, E-mail：gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp <沖縄支部> 支部長：琉球大学 宮城 隼夫 E-mail：miyagi@ie.u-ryukyu.ac.jp 連絡先：有銘 政秀（(株) ジャスミンソフト） Tel：098-921-1588, E-mail：arime@jasmynesoft.co.jp	
<b>■ 編集後記 ■</b> 東日本大震災から 1 年が経ちました。被害の大きかった津波被害エリアでも、仮設商店街ができたりして復興の息吹は感じられるようになりました。復興まちづくりは地図なしでは進みません。また、次の災害に備えるために過去の地図に興味を持つ人も多くいます。これから先も GIS が東北再生の一助を担っていくことを期待しています。 編集作業直前に学会 Web サイトのウイルス感染の疑いが報告されました。震災により情報システムの災害リスク（低頻度）が注目されましたが、情報セキュリティリスク（高頻度）にも細心の注意を払うことを忘れてはいけませんね。 （畑山満則（京都大））	地理情報システム学会ニューズレター 第 81 号 ●発行日 2012 年 3 月 30 日 <b>■発行</b> <b>一般社団法人 地理情報システム学会事務局</b> 〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4 階 TEL/FAX: 03-5689-7955 E-mail: office@gisa-japan.org URL: http://www.gisa-japan.org/	<b>■ 弥生雑記 ■</b> 貞観年間とそれに続く時代は、富士山噴火や各地で相次いで巨大地震に見舞われた時期である。平安時代前期の、清和天皇の御代とほぼ重なる。政治的思惑から異母兄を超えて皇太子となり、数えの 9 歳という前例の無い若さで即位した天皇だった。成人後も政治からは慎重に遠ざけられ、世事に関心があったようには見えない。しかし、天変地異は天子の不徳の致すところ、という思想があった当時、やはり懊悩していたのだろう。彼は息子が自分が即位したのと同じ数えの 9 歳となるや、突如、譲位して出家してしまう。そして文字通り命を削る激しい修行の末、32 歳で亡くなってしまうのだ。災害対策として奉幣くらいしか打つ手がなかった頃のことだ。彼が自分の出来る精一杯のこととして、皇太子の成長を待って、出家修行を選んだことは想像に難くない。 震災から 1 年が経った。様々な面で、1100 余年前とは比べようも無い筈だが…歯がゆい。自分に出来ることは、神頼みの時代と実は変わらないのではないかとすら思うこともある。惑わされず、感情的にならず、何が出来るのだろう。今日も動き、考え、祈っている。（学会事務局）